



(奈川小学校の児童とトウモロコシ栽培)

農業委員会西部ブロック活動紹介

西部ブロックは奈川、安曇、波田、梓川の農業委員、農地利用最適化推進委員計10名の委員で活動しています。

ブロック活動の取り組みとしては遊休農地を活用したトウモロコシ栽培を行っており、今年で4年目になりました。

今年度は食育活動の一環として奈川小学校の児童と共同でトウモロコシ栽培に取り組みました。奈川地区は、寒暖の差が朝と日中で約20度もあり、美味しい野菜が育ちます。9月中旬には児童と一緒に収穫しました。

圃場の周りには、シジミチョウの乱舞や、絶滅危惧種のゴマシジミが見られるところです。作業を通じて子供たちが少しでも農業に（又は荒れた農地）興味を持ってもらえればと思います。

(奈川地区農業委員 橋本 実嗣)

《主な内容》

- 西部ブロック活動紹介
- 意見書について
- 学校給食の取り組みについて
- がんばっています
- 売りたい・貸したい農地情報
- レインボーまつもと22
- 研修報告について
- よもやまばなし

松本市農業施策に関する意見書を提出しました

松本市農業施策に関する意見書を、10月5日に臥雲市長へ提出し、11月9日に開催された懇談会で意見交換を行いました。

農業委員会の活動目的である農地利用の最適化を目指すために中山間地域問題を中心に3つのテーマを持って意見書を提出しました。



「令和4年度松本市農業施策に関する意見書」の要旨

地域内の自給圏構築による遊休農地の活用

- 市内の遊休農地は、今後中山間地域を中心にますます増加することが予測され、化学肥料や飼料も高騰しています。
- 国は農林水産業のCO₂ゼロエミッション化などを目指す“みどりの食料システム戦略”を打ち出しましたが、農地を有効に活用するためには生産者（農業者）の努力だけでは限界があり、新たな発想と価値観が必要です。
- 中山間地域の遊休農地を有効に活用して自給率を高める施策として、松本地域の自給圏構築に向けて農商工関係者に研究機関等を加えた協議の場を産業振興部に設置するよう要望しました。
- 個別施策として、地域ブランドにつながる商品の基礎的な検討や消費、生産、加工、販売のネットワーク化、畜産を核とする有機物循環の仕組みづくりへの支援、遊休農地へのヤギや羊の放牧とマトンを活用したローカルフードによる街おこしなどを提案しました。

農村地域を守るための担い手支援の充実・強化

- 農業委員会には、後継者がいないため農地をこれ以上守れないといった、切実な相談が日々寄せられています。中山間地域では次の耕作者を見つけることはなかなか難しい状況です。
- 農業の担い手は、農村における消防防災、地域伝承、環境維持といった生命や生活の守り手でもあるため、規模拡大、集積・集約化、新規参入に手厚い支援を行う国の施策とは別に、市施策として農村を守るといった視点から中小兼業農家や定年帰農者などへの支援を充実させることを要望しました。

農業・農政を支える体制の強化と予算の確保

- 令和3年4月の組織改正で、農林部がなくなり産業振興部を創設したことから、農業に関する声が届きづらくなることを心配する声が農業委員会へ届いています。農林部と商工部を統合したことでのようなメリットが生まれ、成果が上がったのか。気象変動やロシアのウクライナ侵攻などにより農業と食料確保の大切さが話題となっている今は、“国の基である農業”を力強く復興・支援し、他の優先課題の中で埋没することがないようにしなければなりません。
- 農政に地区担当制を導入するなどして地域に寄り添う体制を整え、広聴機能と政策立案能力を高めること及び農業振興予算の確保・拡充を強く要望しました。

学校給食における地物農産物利用の取り組み



寿地区農業委員
河西 穂高

松本市ではこどもたちの給食に地元の農産物を使う取り組みが進められています。そこで、農家の立場から取り組みの現状と課題を知るために、西部給食センターにお話をお聞きしました。

現在の給食提供体制と地物農産物使用状況

市内学校への給食提供は、その大部分を西部給食センター、東部給食センターが担っていて、その他に市町村合併前から続く地域の給食センターがあります。提供する量は、松本市全体で一日2万食弱。その内、昨年の松本地域産野菜の割合は19%、長野県内産野菜は28%。お米は100%地物産。小麦は県内産50%、国産50%。地物農産物の使用割合は年々上昇傾向ではありますが、この割合をさらに高めていくためには市内農家から

の提供をさらに増やす必要があります。現在、松本市では直接搬入できる市内の販売農家を探しています。

求められている品質、量

給食センターでは、大量の野菜を手早く調理することが求められます。そのため通常の規格とは異なり、可食部が多いものや大きいものが多いようです。皮を剥く手間や洗う手間が少なくなるからです。また、ばらつきや処理の手間を減らすために、形は一定のものを。給食は確実に用意しなければならぬため、安定的な供給を。作物によっては一度に使う量が多いので、ある程度まとまった量となります。特に不足しているものはキャベツ、ニンジン、タマネギだそうです。



▲松本産のなし

おいしい旬のものを

松本市は食育に力をいれています。栄養教諭・学校栄養職員さんがこどもたちに野菜の説明をする時間があるそうです。地物農産物を通して、旬の野菜のおいしさや栄養価の高さを理解してもらうよい機会です。

価格と搬入

農家としては正直気になる部分です。価格は市場調達価格に準じて、応相談。中間業者が入らない直接取引なので、それなりの価格になりそうです。「搬入」これが一番難しいかもしれません。西部給食センターの場合、使用当日の朝7時15分までに給食センターに届ける必要があります。一部根菜類は前日搬入可能だそうです。

課題

給食は農家の販売先の選択肢になると感じますが、現状、提供できる農家は限定されるでしょう。基本的には大規模で、単一作物に特化した農家ということになります。中小農家、多品目栽培農家はグループ化し

て共同出荷などで量を確保しなければ難しくそうです。

さらにすそ野を広げるには、配送の手間を軽減する何らかのシステムが効果的かと思っています。

今回お話をお伺いして、特に印象的だったことがあります。

「給食で地物農産物を食べることで、こどもたちが松本に愛着をもってもらいたい」とのことでした。

これはとても大事なことです。

松本で育ったこどもたちは、いずれかなりの人数が都市部に出ます。

しかしながら地元に残る子もいれば、帰ってくる子もいます。

おいしい食べ物がある地域に住むという選択をしてくれる子が増えてくれることを願っています。

また、こどもたちは成長すれば消費者になります。選んで地物農産物を購入し

てくれたら、とてもうれ

しいです。



▲学校給食 調理の様子

がんばっています



里山辺地区

丸山 慧

私は現在山辺地区で新規就農者育成対策事業の研修生としてぶどう栽培を行っています。

前職は全く別の職種でしたが、以前から農業に興味がありましたが、そして転職を考えはじめた時、真っ先にやりたいと思ったのも農業でした。仕事を辞めてから1シーズン山辺のぶどう農家さんのもとの手伝いを経験して、ぶどう栽培の大変さと苦勞を知りました。しかし、それ以上の楽しさやりがいを感じ山辺でぶどう農家になることを決断しました。手伝いの期間の中で、他の農家さん達との繋がりもでき、あたたかく迎えて入れてくれたことが、ぶどう農家としてやっていくことの一歩の後押しになりました。もちろん今でも相談に乗ってもらったり、技術を教えてもらったりと、とても

心強く、感謝の毎日です。

まだ農業を始めたばかりの新米ですが、この地域の方々への感謝を自分が農業に携わることで、恩返ししていきたいと思えます。そしていずれば、今の自分と同じような境遇の人を後押ししてあげられる農家になりたいと思っています。そのためにこれからもしっかりりと技術を学び、「山辺のぶどう」の名に恥じないぶどうを作れるように頑張っています。



入山辺地区

新井 匠

私が果樹栽培を始めたのは、それまで果樹栽培をしていた祖父が平成二十六年に亡くなってしまったことと、自分の家の畑を荒らしておくこともイヤだなと思ったことがきっかけで、平成三十年に自分の家の畑にブドウの苗木を植えたことで始まりました。

初年度にはデラウエアの畑と大粒種の畑を借りて、栽培技術は周りの農家の方と農協の技術員の方に教わりました。平成三十年産産のデラウエアは教えてくれた方に申し訳ないくらいにほぼ全部の房に種が混入してしまっており出荷できなかつたことを思い出し、農家の先輩からは「失敗することが上手になる一番の近道だ」と言っていたので種の大混入も必要な経験だなと思っています。

そんな半人前にも満たない私ですが、令和二年から三年にかけての冬の剪定作業に声をかけてもらえるようになったり、剪定に行っ

た先で七十年ブドウを作った人の話を聞いて、いろいろな経験をすることで、いかに自分が未熟者で、修行中の身なのかということを知り知らされる日々ですが、それがまた張り合いです。

今後はもう一歩、品質の良いブドウを作れるように、また自分の知らないところで、「あの人いいブドウ作るよね」と言っていただけに頑張ります。



**売りたい
貸したい
農地情報**

農業委員会では、農地の利用促進と遊休農地の解消を図るため、賃借や売買の希望がある農地の情報を公表しています。お気軽にお問合せ下さい。
 なお、ここで紹介する情報は農地としての活用目的に限定されています。
 最新情報は、松本市ホームページでご確認ください。
 【令和4年10月11日現在】



売りたい・貸したい農地

地区	番号	大字	地番	地目	面積(m ²)	売りたい	貸したい	地区	番号	大字	地番	地目	面積(m ²)	売りたい	貸したい	
旧市	1	神田3丁目	340	田	1,591	○	○	入山辺	56	入山辺	7037	畑	168	○	○	
	2	鎌ヶ崎	1924-口	畑	1,229	○	○		57	入山辺	2614	畑	304		○	
	3	神田2丁目	129	畑	749	○	○		58	入山辺	1629-1	畑	179	○		
島内	4	島内	6372	田	856	○			59	入山辺	3192-2	田	621		○	
	5	島内	6373	田	876	○			60	入山辺	3194-2	田	307		○	
中山	6	中山	2755-イ	畑	839	○	○		里山辺	61	里山辺	3723-1	田	436		○
	7	中山	3915	畑	274		○			62	里山辺	5143-1	畑	670	○	
	8	中山	2864-1	畑	878	○				63	里山辺	5144-1	田	294	○	
島立	9	島立	4962-1	田	356	○				64	里山辺	4817-1	田	310	○	○
	10	島立	3531-1	畑	363		○			65	里山辺	4817-2	田	523	○	○
	11	島立	3531-8	畑	2		○	66		里山辺	4716-1	畑	792	○		
新村	12	新村	2436-3	田	496	○		67		里山辺	4863-1	畑	577	○	○	
和田	13	和田	530	田	1,664	○		今井		68	今井	1125-2	畑	708	○	○
	14	和田	3377-2	田	1,259	○				69	今井	1125-3	畑	330	○	○
	15	和田	158-1	田	1,890	○				70	今井	115	田	423	○	○
	16	和田	2935	田	2,043	○	○		71	今井	116	田	995	○	○	
	17	和田	8150	田	2,888	○			72	今井	207	田	628	○	○	
神林	18	神林	2114-1	田	1,407		○		73	今井	218	田	294	○	○	
	19	神林	2528-1	田	1,382	○			74	今井	6524	畑	3,244	○		
	20	神林	2529-1	田	1,218	○			75	今井	326-1	田	164	○	○	
	21	神林	4099-1	畑	456	○			76	今井	326-2	田	61	○	○	
	22	神林	4099-2	田	181	○			77	今井	326-3	田	907	○	○	
	23	神林	4099-イ	田	512	○		78	今井	309-2	畑	198	○	○		
笹賀	24	笹賀	3738-1	田	371		○	内田	79	今井	17676-1	畑	268	○	○	
	25	笹賀	2474	畑	482	○	○		80	内田	1592	畑	574		○	
	26	笹賀	2572	畑	413	○	○		81	内田	883-1	畑	979	○		
	27	笹賀	3402-1	畑	217	○			82	内田	880-1	畑	755	○		
	28	笹賀	4264	畑	8.79	○			83	内田	880-2	畑	61	○		
	29	笹賀	4397-1	田	3.87	○			84	内田	516	畑	915		○	
	30	笹賀	4399	畑	30	○			85	内田	870-1	畑	571	○	○	
	31	笹賀	4540-3	田	137	○			86	内田	882-口	畑	66	○	○	
	32	笹賀	4561	畑	46	○			87	内田	217-1	畑	392	○		
芳川	33	平田西2丁目	26	畑	1,044	○			本郷	88	三才山	18	田	456	○	
	34	村井町南3丁目	1125-1	畑	152		○	89		三才山	559	田	895		○	
	35	村井町南3丁目	1126-2	畑	267		○	90		三才山	561	田	1,515		○	
寿	36	寿小赤	1637-1	畑	853	○		91		三才山	21	田	589	○	○	
	37	寿小赤	1863	畑	631	○	○	92		三才山	22	田	890	○		
	38	寿北5丁目	1107-2	原野	511	○	○	93		稲倉	238	田	763	○	○	
	39	寿北5丁目	1108-2	畑	643	○	○	94		三才山	453	田	1,111		○	
	40	寿白瀬	1924-1	田	1,125	○		95		浅間温泉3丁目	520-1	畑	89	○	○	
	41	寿白瀬	1924-2	畑	152	○		96		板場	31-3	田	1,108	○		
	42	寿白瀬	1924-3	畑	272	○		97		板場	33-3	田	101	○		
	43	寿北5丁目	1114-2	原野	162	○	○	98	会田	2679-1	畑	954	○			
	44	寿北5丁目	1116-1	畑	1,360	○	○	99	殿野入	222	田	1,557	○			
	45	寿北5丁目	1117-3	畑	850	○	○	100	保福寺町	105	畑	309	○			
	46	寿北5丁目	1117-4	畑	900	○	○	101	保福寺町	106	畑	668	○			
	47	寿北5丁目	1117-5	畑	923	○	○	102	反町	790-3	田	2,138	○	○		
	48	寿北5丁目	1117-6	畑	787	○	○	四賀	103	刈谷原町	620	畑	484	○	○	
	49	寿北5丁目	1117-7	畑	1,072	○	○		104	刈谷原町	638-2	田	164	○	○	
	50	寿北5丁目	1117-8	畑	1,385	○	○		105	会田	2106-1	田	577	○		
	51	寿北5丁目	1487-1	畑	817	○	○		106	刈谷原町	368	畑	915	○	○	
	52	寿小赤	2456	畑	471	○			107	取出	782-5	畑	237		○	
	岡田	53	岡田下岡田	452-2	畑	507	○		○	108	取出	784-1	畑	420		○
54		岡田伊深	275	田	724	○			109	中川	4190	田	181	○	○	
55		岡田伊深	613-2	畑	737	○			110	会田	1928	畑	743	○	○	

売りたい貸したい農地情報

地区	番号	大字	地番	地目	面積(m ²)	売りたい	貸したい
四賀	111	板場	621-3	畑	836		○
	112	板場	770	畑	95	○	○
	113	板場	970	畑	357	○	○
	114	板場	1389-70	畑	524	○	○
	115	板場	1389-123	畑	998	○	○
	116	中川	1578-イ	畑	109	○	
	117	中川	1582-3	畑	505	○	
	118	中川	2103-1	畑	750		○
	119	中川	2103-4	畑	661		○
	120	中川	4832-イ	田	122	○	○
	121	中川	4833-1	田	256	○	○
	122	五常	6352	田	577		○
	123	五常	6858-1	田	1,099		○
	124	五常	6858-2	田	244		○
	125	五常	6858-8	田	242		○
	126	中川	8001	田	397	○	
	127	中川	8004	田	799	○	
	128	刈谷原町	940-1	田	295	○	
梓川	129	梓川梓	5611-1	畑	1,035	○	
	130	梓川梓	5611-2	畑	147	○	
	131	梓川梓	5491-1	畑	676	○	
	132	梓川梓	5491-2	畑	434	○	
	133	梓川上野	301-2	畑	835	○	

地区	番号	大字	地番	地目	面積(m ²)	売りたい	貸したい
梓川	134	梓川梓	4719-2	畑	433	○	
	135	梓川上野	1969-4	畑	1,691	○	
	136	梓川梓	4822-2	畑	5,337	○	
奈川	137	奈川	3490-1	畑	1,092	○	○
	138	奈川	1796-1	田	399	○	○
	139	奈川	1795-3	田	831	○	○
	140	奈川	1748-3	畑	273	○	○
波田	141	波田	8158-1	田	2,367	○	○
	142	波田	8127-4	畑	1,313	○	
	143	波田	7102-1	田	2,006	○	○
	144	波田	8158-4	畑	346	○	○
	145	波田	9632-1	畑	2,828	○	
	146	波田	5994-1	畑	874	○	
	147	波田	5995-2	畑	396	○	
	148	波田	5996-4	畑	35	○	
	149	波田	9742-3	畑	271	○	
	150	波田	7102-1	畑	2,006	○	○
	151	波田	8158-4	畑	346	○	○
	152	波田	4753-1	畑	535		○
	153	波田	4761-1	畑	199		○
	154	波田	1894	畑	507		○
	155	波田	10299-5	畑	134	○	

現在利用権設定がある農地のうち、利用権終了後に売りたい意向のある農地 (利用権の終期等、詳細については、農業委員会事務局へ直接お問合せください。)

地区	番号	大字	地番	地目	面積(m ²)
島立	1	島立	2321	畑	755
	2	島立	2210	田	1,276
	3	島立	4389	田	3,597
	4	島立	4335	田	2,290
	5	島立	5050	田	1,729
	6	島立	4897-1	田	714
	7	島立	3185	田	3,820
新村	8	新村	3273	田	2,604
	9	新村	3274	畑	798
	10	新村	2644-1	田	763
	11	新村	2644-2	田	2,159
和田	12	新村	2646	田	2,521
	13	和田	8062	田	2,989
	14	和田	1464	田	1,366
神林	15	和田	87	田	3,016
	16	神林	1495-2	田	1,590
	17	神林	151-2	田	2,990
	18	神林	5999-1	田	516
笹賀	19	笹賀	4539-1	田	1,105
	20	笹賀	4541-1	田	418
	21	笹賀	4543	田	1,028
	22	笹賀	6531-29	田	2,089
寿	23	寿豊丘	363-1	田	1,813
	24	寿小赤	100	畑	3,120
	25	寿小赤	152	田	2,067
	26	寿豊丘	961-2	畑	542
	27	寿豊丘	965-2	畑	495
岡田	28	岡田伊深	120-2	田	610
	29	岡田伊深	120-3	田	2,443
今井	30	今井	3819	畑	2,886
	31	今井	2390-1	畑	526
	32	今井	2979	田	1,548

地区	番号	大字	地番	地目	面積(m ²)
今井	33	今井	4971	畑	2,799
	34	今井	5562-1	田	232
	35	今井	5562-2	雑種地	769
	36	今井	5563-1	雑種地	778
	37	今井	5563-2	田	187
	38	今井	2932	田	887
	39	今井	5249	畑	859
	40	今井	5494-1	田	991
	41	今井	6512	畑	2,152
	42	今井	1162-1	畑	694
	43	今井	1162-3	畑	148
	44	今井	1163-1	畑	1,163
	45	今井	1164-2	畑	571
	46	今井	1164-3	畑	234
	内田	47	内田	780-1	畑
48		内田	305	畑	1,031
49		内田	1138	田	1,811
50		内田	313	田	1,819
本郷	51	浅間温泉3丁目	519-1	畑	1,361
	52	浅間温泉3丁目	520-イ	畑	102
四賀	53	板場	88-1	田	1,365
梓川	54	梓川梓	292	田	3,009
	55	梓川梓	4874-1	畑	2,200
	56	梓川梓	4874-2	畑	792
	57	梓川上野	2290	畑	1,389
波田	58	波田	7152	田	2,860
	59	波田	7153	田	2,955
	60	波田	7154	田	2,898
	61	波田	7155	田	2,867
	62	波田	7837	田	3,035
	63	波田	9656-1	畑	769

レインボーまつもと22

(まつもと農村女性協議会)

まつもと農村女性協議会は、全体・ブロックごと・地区ごとに様々な活動をしています。
今号では、入山辺農村女性協議会の活動内容をご紹介します。



▶料理講習の様子

私たち入山辺農村女性委員会では、年間を通して会員同士の交流、地元産の野菜を使った料理講習、食育活動、手芸やフラワーアレンジメント、体力づくり、新鮮な野菜・果物の直売事業などいろいろな活動をしています。

八月にはコロナの感染予防をしつかり行った上でトマト・玉ねぎ・ジャガイモなどを使ったトマトソース講習を行いました。地元の完熟トマトに特産のデラウエアや桃も加え、深みのあるとてもおいしいトマトソースができました。

早速トマトソースパスタを作って試食となれば最高でしたが、感染防止のため、ビン詰加工し持ち帰ってからいただきました。

料理講習終了後は、地元農業委員の武井茂善さんと懇談会を行いました。「入山辺の農業の現状と課題」と「農地中間管理事業」についてわかりやすく説明していただいた後、意見交換を行い有意義な懇談会となりました。料理講習については、冬期にキムチ講習、コンニャク作り・ソーセージ作りが予定されています。美味しいものを作るだけでなく、会員同士の交流ができてとても楽しいひと時になっています。

これからもスマホ講習を取り入れ

るなど参加しやすい工夫をしながら、楽しく活動が続けていきたいと思いをします。

入山辺 百瀬 清子



▶農業委員との懇談会

農業委員会の研修

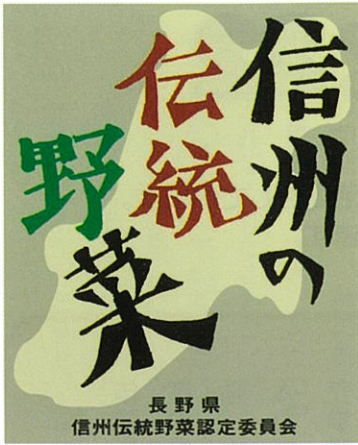


中立委員
瀧澤 和子

経緯

8月定例会は移動委員会でした。午前中は安曇基幹集落センターで総会を、午後は安曇地方の伝統野菜番所きゅうり(土地の人はばんごうりと呼ぶ)を研修しました。番所きゅうりは平成21年県がその存続を支援する「信州の伝統野菜」に認定されました。

その関係か県や市の特産物を特



集した印刷物(カレンダーやパンフレット)ときにはクリアファイル)に必ず記載されています。

でも、「見たことない」「食べたことない」の声が頻りです。

そんな次第で番所きゅうりを学ぶことになりました。

齋藤勝幸委員は番所に居住されているとの事で齋藤委員のお宅で話を聞くことになりました。

希少野菜

時機を逸して成っているところを見ることはできませんでしたが採種のため保存している



ものを見ながら、そして奥様が工夫を凝らして今日の為に冷蔵保存しておいてくださった浅漬けを味わいながら受講です。

講師は乗鞍生産者組合、きゅうり部会の奥灘初男さんです。

まず来歴。昭和初期には栽培されていたことはわかっているが詳細は不明との事。

水分豊富なことから山仕事・畑仕

事に持参して味噌をつけて食していたとの記録があるそうです。

この番所きゅうりも一時は衰退しました。信州大学農学部の大井美知男教授から「こんな珍しいきゅうりは存続させる必要がある」と聞かされた上松市男さんが音頭を取って再興させたのだそうです。21世紀になるころでした。

貴重野菜

番所は標高1300m。この高地でないミズミズしくはなりません。800mくらいの処で栽培したらパ



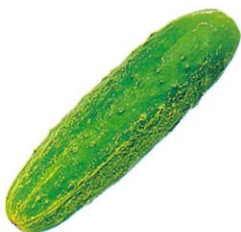
▲番所での研修風景

サパサのものができたそうです。

番所きゅうりはとても従順で交配しやすい性格。近隣にキュウリ畑やズッキーニ畑があつてはダメ。この土地の人みんなの協力がが必要です。番所の人にとっては「ばんごうりは作るもの、西洋きゅうりは買うもの」なのです。

この取り扱い至難の番所きゅうりを26名で守っています。その26人はみな旅館業や飲食店、おいしく食べることへの労を惜しまないのが強みです。

県が支援する理由が理解できません。更には県が伝統野菜として認定したことから、松本市の調理師会や信州の伝統食の合理性・倫理性の伝承に力を注いでおられる横山タカ子さんなどから新レシピが提案されているそうです。将来が楽しみです。





その正体

直径5cmほど、長さ20cmくらい、ずんぐりした胴体に黒い棘のある突起がぼつぼつと…。お世辞にもスマートとは言えません。

皮は薄く爪で傷つければそこから割ることができ、果肉は柔らかく歯のない人でも噛めます。種はゼリー状でプチプチして甘く、実から皮まで捨てる処がありません。

5月下旬ころ種をまき、7月下旬から盆の頃迄収穫できます。葉も花

も西洋きゅうりより一回りも二回りも大きいのが特徴。

収穫せずに放っておくと曲がって変色して固くなります。そこから種を取って水につけ、沈んだものを乾燥させ次年度の種（ファザー・シード）として使います。

現在は個人個人で自主採種・自主栽培ですが、近々品評会・交換会などとしてより強くおいしいものを作ろうときゅうり部会が計画しているそうです。

地産地消

ここでしか取れない。ここでしか食せない。

その土地で摂れるものをその土地で費消する。

「地産地消」とはこういうことと物語るような番所きゅうりです。番所きゅうりを食べに収穫時期の番所へ行きましょう。

伝統野菜とはその土地の気候・風土が基礎を築き、種の維持に精魂込める人情が加わって存続されていることをしっかりと認識しました。

終わり

番所の住人齋藤さんに「私のうちに寄ってもらってワイフときゅうり部会の人から話をして貰います」と言われたとき、齋藤さんはどんな豪邸に住んでいるのだろうか？と思ったものです。

到着したらなんと合掌造りの立派な建物。そして看板に「そば処 合掌」とあって納得。聞くところによれば糸魚川市の大久保集落から移築したとか。この建物のことも詳しくお聞きしたかったです。

そして齋藤さんがお子さんと丹精して栽培した乗鞍在来の番所蕎麦を石臼で挽き、乗鞍山麓の湧水で心を込めて打っているであろう蕎麦も、番所の空気と共に味わいたかったです。

お店の収容人数を過ぎる委員会を快く迎え入れて下さったうえ浅漬けまでご馳走して下さいました齋藤さんの奥さんに深く感謝を表します。有難うございました。



▲そば処 合掌



▲乗鞍在来 番所蕎麦の畑

よもやまばなし



農業委員
林 昌美

農家の嫁

松本に嫁いで30年以上が過ぎた。

スカートとサンダル、長い髪をなびかせ畑に行く私はズボンと運動靴を履く様に言われた。

10時と15時にお茶を飲んだので毎日5食作った。一日中台所に居るような気がした。

トマトやきゅうりが上へ上へと登って行き、実を付けているのが珍しかった。トマトを切ったらゼリー状の胎座部分^{たいざ}が真っ赤で腐っているのかと思いきや10個程切ったが全部赤かった。私の知っていたトマトは緑色のゼリー状で食べると酸っぱかった。畑で赤くすると中まで赤く甘くなると義母に教えてもらった。

きねぎを刻み、サバ缶を和えりと蕎麦・うどん時の脇役が主役となり美味しい。昼食に大量に刻んだ。義父に「白い部分はどうした?」と聞かれたが、そもそもねぎに白い部分などあったのか?と思った。土から出ている所で切ってきた。ねぎとは抜くものらしい。白い美味しい部分を全て土の中に置いて来た等々農家での日々は書きつくせない程の驚きの発見だ。今では考えられない事だらけだが、未だに毎日新しい発見があり楽しい。



農協の役員や総代、農業委員をしている私を見たら義父母が一番驚き喜んでくれるだろう。一番の発見と驚きは私が農家の嫁であり松本に来て良かったという事だ。

長野県農業開発公社からお知らせです!

お持ちの農地を活用してみませんか?

長野県農業開発公社では、農地の貸借・売買を通じて農地の有効活用を図っています。対象となる農地は農業振興地域内の農地になります。

《貸し借りで活かす!》

- ◆農地の貸し借りを通じて担い手への農地集積と集約化を推進し、農地の有効利用や農業経営の効率化を図る事業です。
- ◆農地の出し手と受け手を営利を目的としない公的機関「農地中間管理機構」が仲介するので、安心して農地の貸し借りができます。

《売買で活かす!》

- ◆農地を売りたい・買いたいあなたを公社が支援します。
- ◆公社を活用した売買は、税制の特例が受けられる、農地売買に関する手続きを支援してもらえる等のメリットがあります。

まずはご相談ください! 長野県農業開発公社松本事業所 住所 松本市島立 1020 (松本合同庁舎 5 階) 電話 47-7800 (内線 2852)

編集後記

最近、生物多様性という言葉が気になっていきます。地上では様々な動物・植物・微生物などが共に生きているということ。そこで今年は水田の中干しを止めてみました。すると水田のとなりの自家用野菜畑でたくさんのお蛙たちをトウモロコシの葉の上、穂の中で見ることができました。

(新村地区農業委員 細江 弘光)

- 【情報・研修委員】
- 委員長 中川 敦
 - 副委員長 河西 穂高
 - 委員 小林 康基
 - 委員 太田 辰雄
 - 委員 細江 弘光
 - 委員 齋藤 勝幸
 - 委員 倉科 孝明
 - 委員 林 昌美
 - 委員 瀧澤 和子